

第 24 回スパズムシンポジウム世話人会議事録

平成 20 年 3 月 20 日 7:00-8:00

グランドプリンスホテル京都 B1F ローズルーム

1. 第 24 回概要報告
岡山大学 伊達 勲 教授より報告された。
2. 第 23 回開催校会計報告
鳥取大学 渡辺 高志 教授より報告された。
3. 事務局報告 (九州大学 佐々木富男教授)
会員状況報告・会計報告がなされ承認された。
4. 次次期会長選出
第 26 回 (Stroke 2010) 会長に富山大学 遠藤俊郎教授が推薦され承認された。
第 35 回脳卒中学会会長：小川 彰 教授 (岩手医科大学)
第 39 回脳卒中の外科学会会長：嘉山 孝正 教授 (山形大学)
5. 新世話人選出
新世話人の推薦はなかった。
6. 新顧問選出
新顧問の選出はなかった。
7. その他審議事項
【開催形式について】
スパズムシンポジウム参加者数・基礎研究演題は減少傾向にある。
2 年前のアンケート結果を踏まえて、三学会合同開催形式について再度広く意見を頂いた。
【メリット】
資金運営が安定する。
若い医師は疲弊している。学会数は減らし類似研究の発表の場を集約すべきである。
【デメリット】
脳卒中学会のメインホールと時間が重なってしまい、脳卒中学会の演題が聴きにくい。
内科からのスパズム関連演題は脳卒中学会で発表されている。
【対策】
プログラム編成の工夫で参加者も増えるのではないかな？
スパズム単独のスケジュールを最低半日は欲しい。
内科からは非会員でもスパズムシンポジウムで発表してもよいようにしてはどうか。
内科からのスパズム関連演題発表は脳卒中学会ではなく、全てスパズムシンポジウムに登録・発表するようなお願いができないか。
三学会の世話人で討議し、スパズム関連演題は脳卒中学会の発表でも、スパズムシンポジウムと合同のセッションにしてはどうか。次次期会長 (小川教授) に工夫・試行をお願いしたい。

出席者（敬称略）

堀 智勝
山田和雄
小野成紀
伊達 勲
佐々木富男
渡辺高志
松居 徹
・空席・

(空席)

藤井清孝

大熊洋揮

(空席)

橋本信夫

安井信之

永井 肇

西澤 茂

太田富雄

(空席)

金 彪

斉藤延人

佐野公俊

金丸憲司

平島 豊
佐々木達也
塩川芳昭
永田 泉
榊 寿右
鈴木倫保
松居 徹
児玉南海雄